

2. 2015年第1週～2018年第24週の性・年齢分布

2018年第1週から第24週まで(以下、2018年)に診断された417例は年齢中央値が37歳[範囲:2-85歳,四分位範囲:29-46歳]で、2015～2017年(以下、過去)の報告(年齢中央値44歳[範囲:0-99歳,四分位範囲:31-59歳])と比較し低下していた。2018年の男女別年齢中央値は男性が37歳、女性が42歳であった。性別は2018年の男性の割合(92%)が過去の報告(61%)と比較して高かった。

3. 2015年第1週～2018年第24週の感染源・感染経路

推定される感染経路は2018年の報告(417例)では、経口感染の割合(38%)が過去の報告(74%)と比較して低く、性的接触(53%)が過去の報告(4%)と比較して高い割合であった。特に、男性における性的接触の割合が(58%)で、過去の報告(5%)と比較して高く、女性における性的接触の割合(3%)は、過去(1%)と比較して大きな変化はなかった。

4. 2015年第1週～2018年第24週の症状

報告された症状は肝機能異常(2018年90%、過去88%)が最も多く、次いで全身倦怠感(2018年84%、過去83%)、黄疸(2018年71%、過去68%)の順に高い割合であった。「肝性脳症および/または意識障害」を呈した症例は2018年が2例(0.5%)で、過去は2例(0.3%)であった。